第１３回びわ環サークル例会活動報告

見学会

テーマ	淀川資料館と村野浄水場の見学	
開催日時	平成 30 年 11 月 8 日（木曜日）晴れ　　11：00～15：30	
場　　所	淀川資料館：大阪府枚方市新町２－２－１３　京阪枚方市より徒歩 7 分 村野浄水場：大阪府枚方市村野高見台７－２　京阪村野より徒歩 20 分	
施設説明と見学会	淀川資料館	午前中に 30 分程 PPT で担当者が説明、その後に 30 分弱で展示施設を自由に閲覧
	村野浄水場	午後 1 時半から 2 時間程度の見学会、はじめに、施設の紹介ビデオと浄水のモデル実験を受けて、浄水施設全体を案内頂き、質疑応答
参加者	びわ環サークル事務局	一色実
	レイカディア大学	38 期　岡村保行、村井克之、39 期　井上俊道、井ノ口昭雄、大滝浩見、大野光男、寺澤孝之、小篠伸二、小西愼一、谷弥一郎、中村一馬、辻和夫、杉田薫、中場直人、中川直人、松村さかえ、百木義忠、一色実、40 期　太田勝祐、木村和由、沢村幹雄、吉岡俊雄、新垣重男、河合保、37 期　藤岡純一 25 名

１．はじめに

滋賀県外の施設見学になるが、琵琶湖との関わりの大きい淀川資料館と村野浄水場を知ることの意義は大きいと判断して活動を企画した。両施設とも事前の見学申し込みが必要であり、電話での希望調整を行った上で、正式の見学申し込みと参加者の名簿を提出している。前回は台風のために中止しているため、再提出している。

２．説明と見学の概要

（１）淀川資料館：

職員２名が担当して頂いた。スクリーンで、琵琶湖から淀川、大阪湾への流れ、治水事業の歴史、淀川の特徴や大阪平野の変遷、三十石舟と蒸気船、デ･レーケの粗朶を用いた河川改修、明治 18 年の大洪水のようす、今の淀川のつくりかえに貢献した沖野忠雄・大橋房太郎の話しが紹介され、アンケートに回答。その後、北河内の舟運の運航に関連した毛馬の「閘門」設置の歴史を紹介した特別展示等を見学し、琵琶湖との繋がりへの理解を深めることができた。

（２）村野浄水場

本館４階の大教室で、見学者担当の大阪水道総合サービスの奥田さんから、施設紹介のビデオを２０分程度放映頂き、淀川の汚れた水を用いて、PAC による凝集沈殿や活性炭による色素吸着等のモデル実験をメンバー二人が参加して行った。その後、見学案内担当の志村さんが、浄水場全体の管理室、沈砂池、着水井、急速攪拌池、フロック形成池、急速濾過池、オゾンによる高度浄水処理施設等を案内頂いた。

高度処理施設前には、レイカディア大学見学記念のモニュメントを用意頂き、３班に分かれて記念写真と撮って頂いた。村野浄水場は、昭和３８年にスタートし、５５年目。１８０万 m^3／日の日本一の浄水能力で、処理時間は約１２時間。敷地面積は３０万 m^2 で甲子園の６倍。大阪市を除く大阪府４２市町村に供給。最も遠いところは岬で９０km。オゾン処理後に塩素注入。

３．見学会で感じたこと

・琵琶湖の水を通じて、他府県との繋がりの大切さを改めて知ることができた。特に、水質や治水との関わりで下流への影響が大きいこと。

・両施設とも、丁寧な対応で、見学者への配慮に感謝している。村野浄水場ではお土産に土と花の種、水道水を提供して頂いた。

・参加者全員からアンケート結果を提出頂き、今回の行事は全員良かったと判断頂いた。今後の活動として、偏りが無いようにメンバーからの自由な企画をお願いしたいと考えている。

写真１　：　淀川資料館の説明会

写真２　：　村野浄水場の説明会

写真３：村野浄水場の施設見学

４．アンケート結果

（１）今回の行事について：良い　２５名、普通　０名、悪い　０名

（２）改善点

・近場での活動を希望する

・スケジュール明細分かれば助かる

・今回の様に軽いしばりが良い

・歩くなど軽い運動がある方が良い

（３）今後の希望行事

・施設見学１５名、講演会９名、野外学習１２名、親睦会９名

・養父市バイオ発電、学習船うみのこ、自然保護地、琵琶湖周辺の清掃作業、永源ダム、年間３－４回が適当